

TOTO

棚付二連紙巻器

YHK490F型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

警告



禁止

屋外や浴室などの、水がかかったり湿気の多い場所には設置しない
また、下地および商品を水にぬらさない

部材が腐食することで商品が脱落し、けがをするおそれがあります。



分解禁止

修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造は行わない
故障の原因となります。



必ず実行

取付面には、厚さ12mm以上の構造用合板（JAS規格品）または同等以上の強度のある下地材を使用する

取り付けが不安定になり、落下してけがや重大事故につながる原因になります。



警告

取付面がコンクリート下地の場合は、当社指定の固定金具【品番 T110D28 樹脂プラグ20個入り（φ6×30、下穴φ6）】を使用する

取り付けが不安定になり、落下してけがや重大事故につながる原因になります。

必ず同梱のねじ、座金を使用する

同梱のねじ、座金を使用しないと、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する

下地に十分な厚み・補強がないと、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する

商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

壁取付ねじを締め付けた際、バリが出ていないことを確認する

バリが出ていると、使用される方がさわったりすることにより、けがをするおそれがあります。

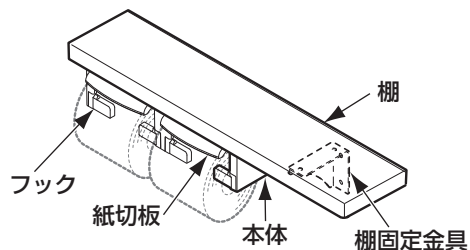
取り付け完了後、商品が水平に取り付いていることを確認する

商品が指定の向きで、水平に取り付いていないと、商品が外れたり、壁が壊れたり、棚の上に置いたものが落下して、使用される方が転倒したり、けがをするおそれがあります。



必ず実行

2. 各部のなまえ



※本体と棚固定金具は、左右逆にも組み付けられます。

3. 固定金具(別売品)

＜固定金具一覧表＞

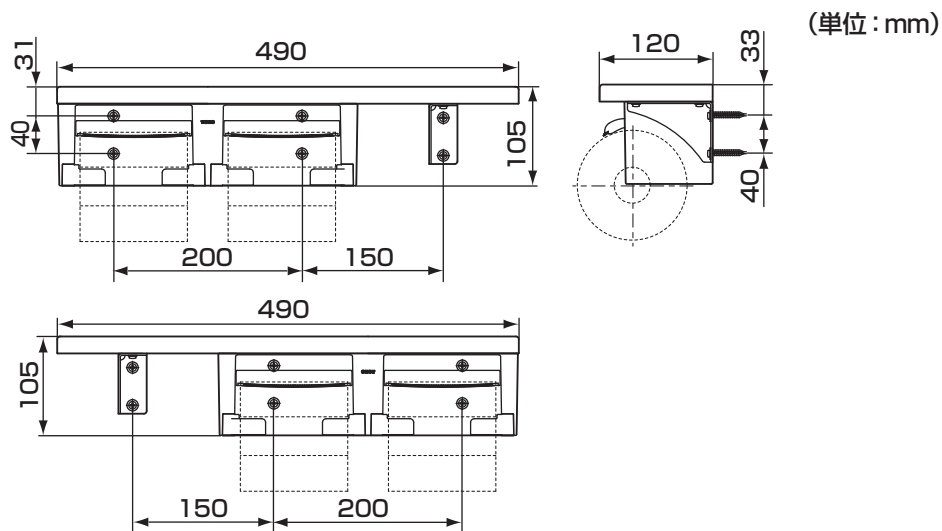
品番	T110D28
名称	樹脂プラグ
形状	 φ6×30
入数	20個

4. 付属品品の確認

次の部品があることを確認してください。

付 属 部 品			
紙巻器本体	1個	棚取付ねじ (なベタッピンねじ座金付φ4×18)	6本
壁取付ねじ (なベタッピンねじφ4.5×40)	4本	棚固定金具	1個
壁取付ねじ用座金(φ12×t1.2)	4枚	(なベタッピンねじφ4.5×40 2本 座金φ12×t1.2 2枚付き)	
棚板	1枚		

5. 商品寸法

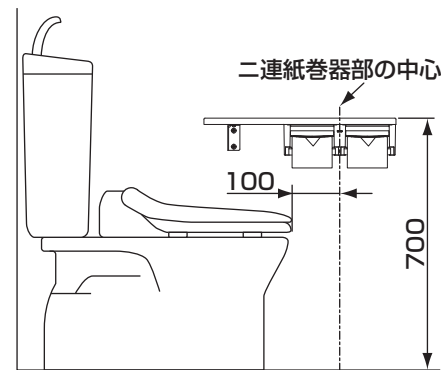


6. 取付位置

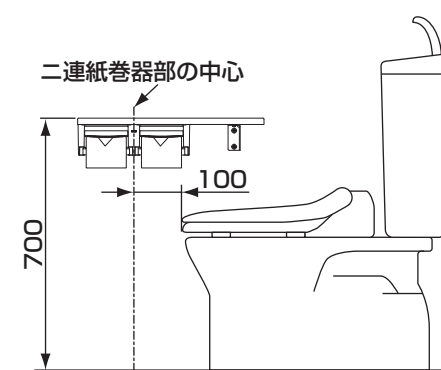
下図は参考位置です。現場の状況に応じて適切な取付位置を決めてください。

(単位:mm)

右壁設置の場合



左壁設置の場合



警告



禁止

屋外や浴室などの、水がかかったり湿気の多い場所には設置しない
また、下地および商品を水にぬらさない

部材が腐食することで商品が脱落し、けがをするおそれがあります。



分解禁止

修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造は行わない
故障の原因となります。

裏面へつづく

7. 取り付け前の準備

⚠ 警 告

取付面には、厚さ12mm以上の構造用合板（JAS規格品）または同等以上の強度のある下地材を使用する

取り付けが不安定になり、落下してけがや重大事故につながる原因になります。

取付面がコンクリート下地の場合は、当社指定の固定金具【品番 T110D28 樹脂プラグ20個入り（ $\phi 6 \times 30$ 、下穴 $\phi 6$ ）】を使用する

取り付けが不安定になり、落下してけがや重大事故につながる原因になります。



必ず実行

必ず同梱のねじ、座金を使用する

同梱のねじ、座金を使用しないと、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する

下地に十分な厚み・補強がないと、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

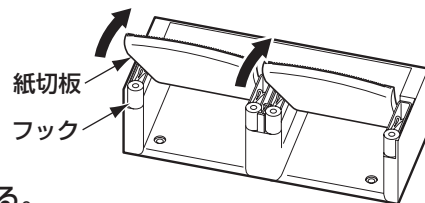
8-1. 取付方法

1 棚と紙巻器本体、棚固定金具の組み立て

【1】商品の取付位置を確認し、紙巻器本体を、棚の左右どちらの端に組み付けるか確認する。

※棚板の下穴は一度ねじを取り付けて外すと、穴が破壊されねじが効かなくなる場合があります。

【2】棚板の裏面（下穴があいている面）に、紙巻器を取り付ける。
棚板に対する紙巻器の位置、および向きは②の図を参照する。

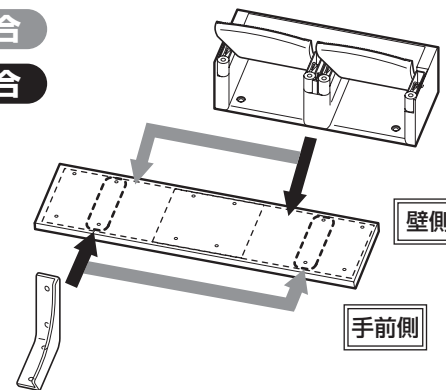


①フックを回転させ、紙切板を移動する。

②棚板の裏面の下穴の位置を確認する。

右壁設置の場合

左壁設置の場合

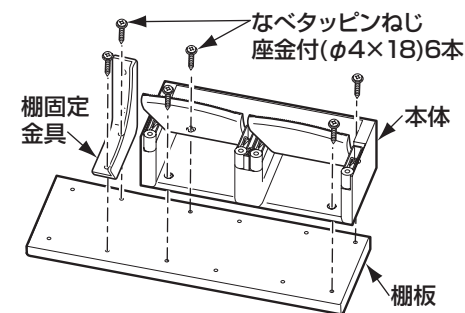


注 意

棚板に対する紙巻器の位置、および向きは、正しく取り付けてください。
誤って取り付けした場合、使い勝手が悪くなるおそれがあります。

③付属の $\phi 4 \times 18$ なベタタッピンねじ座金付にて紙巻器本体（ねじ4本）、棚固定金具（ねじ2本）を棚板に取り付ける。

※紙巻器本体と棚固定金具と棚板の背面（壁取り付け面）がぴったりとあうように取り付けてください。



④フックを元に戻す。

警 告

棚板に紙巻器や棚固定金具を取り付ける際は、過大な締め付けトルクで、下穴を破損しないよう締め付けの最後は、必ず手で締める
一度棚を固定したあと、棚を取り外して付け直さない

棚板のねじ穴部が破損し、ねじが抜け商品が外れたり、商品の十分な耐荷重が得られない場合があります。

2 本体の取り付け

- ①心出しをしたあと、 $\phi 2.5\text{mm} \sim \phi 3\text{mm}$ のなベタッピンねじの下穴をあける。

注1 このとき、商品が水平に取り付くように穴位置を確認する。

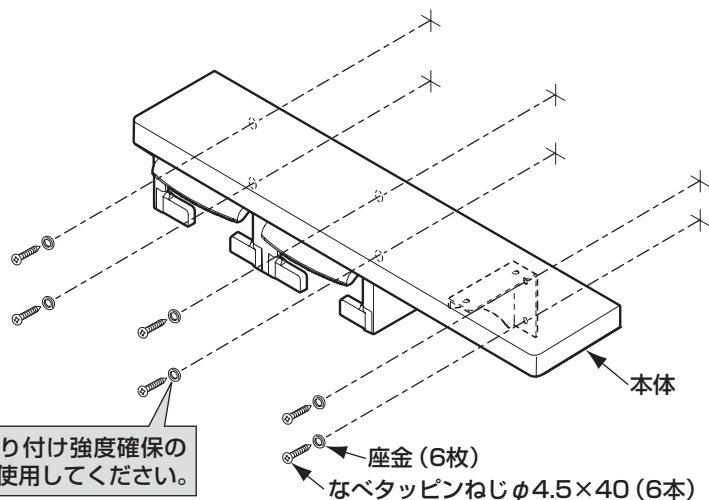
- ②本体を付属のなベタッピンねじ (6本) と座金 (6枚) で固定する。**注2**

※ねじを締め付けるときは、ドライバーが棚板・紙切板に当たって傷を付けないように注意してください。

※取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、同梱のなベタッピンねじと市販の樹脂プラグを使用してください。

取り付けが不安定になり、落下して重大事故につながるおそれがあります。

また、締め付けたねじにバリが出ていないことを確認する。



- ③取り付けが完了したあと、棚板や紙巻器がガタつかないことを確認する。
また、商品が水平に取り付いていることを確認する。

注 意

注1： $\phi 2.5\text{mm} \sim \phi 3\text{mm}$ の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：なベタッピンねじを強く締めすぎて合板・補強木やタイルなどを破壊しないように注意してください。

警告



必ず実行

取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する

商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

壁取付ねじを締め付けた際、バリが出ていないことを確認する

バリが出ていると、使用される方がさわったりすることにより、けがをするおそれがあります。

取り付け完了後、商品が水平に取り付いていることを確認する

商品が指定の向きで、水平に取り付いていないと、商品が外れたり、壁が壊れたり、棚の上に置いたものが落下して、使用される方が転倒したり、けがをするおそれがあります。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。